

精神保健福祉士によるスーパービジョン 希望者を募集します！

現場に出ると、精神保健福祉士としての自分自身について時間をかけて振り返る、洞察を深める、といった機会は日頃取りにくい状況かと思えます。

「自分自身のかかわりを振り返り、精神保健福祉士として成長したい」、
「SVに興味がある」、というかた **1名** を募集致します。

SVを迷っておられたかたもこの機会にご応募いただければと思います。

私と一緒に、ご自身の「対象者とのかかわり」をみつめなおしてみませんか？

◎スーパービジョンについて

精神保健福祉士の成長に有効な方法のひとつが、スーパービジョン（以下、「SV」とする）です。

SVはスーパーバイザー（以下、「SVR」とする）と、SVを受けるスーパーバイジー（以下、「SVE」とする）との間で双方向的コミュニケーションを通して行います。

SVRとSVEとが、クライアントに向き合う中で生じる様々な葛藤や迷い、精神保健福祉士としての職業的立ち位置など日ごろ抱えやすい悩みを題材にして、協同してSVEの洞察を深めることを目的とします。

- * 今回の募集は、日本精神保健福祉士協会が実施する「認定スーパーバイザー養成研修」の研修過程で試行的に行われるSVです。SV実施にかかる基礎的な研修・知識は修めた上で実施致しますが、協会の認定SVRによるSVではないことをご承知おきください。
- * SVはSVRが一方向的にSVEへ教える教育プロセスではありません。SVEが向き合うクライアントとのかかわりを題材に、SVEのソーシャルワーカーとしての成長を目指す共同作業です。
- * **OJT(On the Job Training)** (所属機関から求められる職務遂行に必要な知識、技能、態度等の能力向上・改善を目的とした教育訓練) や、**事例検討** (対象者に対する具体的支援方法の検討) は今回のSVとは区別され、行いません。
- * **1名**のSVE公募のため、応募多数の場合は、書類選考とさせていただきます。

募集要項

1. 目的:①「第 14 回認定スーパーバイザー養成研修」課題達成のため、②SVE の精神保健福祉士としての成長のため
2. 費用: **無料**
(資料代等、SV 実施のための経費が生じる場合は別途話し合いの上取り決める)
3. 対象:
 - ・精神保健福祉士として精神保健・精神障害者福祉領域で実務を行っている方
 - ・その他、実務領域を持ち、ソーシャルワーカーとしての成長を望む方

＊日本精神保健福祉士協会構成員であることが望ましい

年齢・性別:不問

経験年数:新人からおおむね実務経験 10 年程度まで
4. 期間・回数:およそ 9 か月間で 6 回以上の面談を予定
5. 申込期限:平成 30 年 9 月 9 日(日)
6. その他:初回の面談の際、SV 実施の際の注意事項や進め方について確認し、合意した内容で契約を取り交わします。SV は 2 回目の面談から開始します。
7. SVR がスーパービジョンの記録を取ることに、ならびにその記録を基にしたレポートを日本精神保健福祉士協会に報告することに同意して頂けること(氏名や所属先名称等は出しません)。
8. 申込・お問い合わせ:E-mail supervision@tokyo-psw.com

SVR プロフィール:大高 靖史(おおたか やすし)



(略歴等)

H20 年 財団法人国立精神神経科学振興財団の研究員として入職。同年より日本医科大学付属病院精神神経科の精神保健福祉士として勤務。主に救命救急センターにおける自殺未遂者支援に関する介入研究に従事

H24 年より現職(日本医科大学付属病院 精神神経科)。精神神経科の外来・入院患者の他、救命救急センター入院患者を中心としたコンサルテーションリエゾン対応など広く相談業務に従事
その他、文京区保健サービスセンター(精神科デイケアにおけるグループワーク)、日本福祉教育専門学校、日本リハビリテーション専門学校 非常勤講師、等

H26 年 筑波大学大学院人間総合科学研究科卒・リハビリテーション修士
認定精神保健福祉士

(社会活動等)

東京精神保健福祉士協会 自殺対策委員会・研修委員会 委員、文京区自殺対策計画策定委員、台東区自殺対策委員、荒川区自殺未遂者支援連絡会委員

所属学会:社会精神医学会、総合病院精神医学会、自殺予防学会